

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（ちくまがわじょうりゅう） 千曲川上流森林計画区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署																
事業の概要・目的	<p>当事業は、千曲川上流森林計画区の上田市、東御市、小諸市、佐久市、及び南佐久郡、北佐久郡、小諸郡内の町村に所在する58,742 h a の国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、長野県東部に位置し、森林の現況は人工林52%、天然林48%となっており、このうち人工林は、信州カラマツの発祥地であることからカラマツが81%と特に多く、次いでアカマツの12%となっている。</p> <p>年間降水量は1,000mm前後と少ないため、農業用水などは古来から溜め池等に依存し、飲料水についても山麓の地下水や湧水を使用している。また、川上村に源を発する千曲川は、佐久平、善光寺平、越後平野の重要な水源となっていることから、国有林野面積の92%が水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>当計画区は、上信越高原国立公園を始めとして、秩父多摩甲斐国立公園、八ヶ岳中信高原国定公園、妙義荒船佐久高原国定公園など多くの貴重な自然環境を有しており、首都圏にも近いことから、軽井沢は古くから国民の保健休養の場として利用されている。また、高速交通網等の整備に伴い、優れた自然景観に恵まれている北白樺、菅平、野辺山等の地区においても、森林を利用したスキー場や森林浴等の保健休養の場として首都圏から多くの人々が訪れている。</p> <p>当地域の木材加工業については、郷土樹種であるカラマツ材の生産及び利用の先進地であり、カラマツを利用した木材加工業が発達している。</p> <p>当事業は、当該計画区内の国有林野の有する水源かん養機能、山地災害防止機能や保健文化機能などの公益的機能の発揮を積極的に高めていくことを第一とし、併せて木材加工業の振興を図るためカラマツの安定供給に努めることとして、それぞれの森林の機能が適切に発揮されるよう効率的な森林整備を推進するための林道の新設・改良等の路網整備を行い、機能類型に応じた長伐期・針広混交林施策等多様な森林整備を実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">100 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,645 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.9 k m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.3 k m</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	100 h a			保育面積	4,645 h a		路網整備	開設延長	6.9 k m			改良延長	2.3 k m
主な事業内容	森林整備	更新面積	100 h a																
		保育面積	4,645 h a																
	路網整備	開設延長	6.9 k m																
		改良延長	2.3 k m																
費用対効果分析	総 便 益 (B)	22,514,867 千円																	
	総 費 用 (C)	1,603,053 千円																	
	分析結果 (B/C)	14.04																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 国土の保全、水源のかん養及び自然環境の維持・保全、二酸化炭素吸収による地球温暖化防止等、公益的機能の発揮が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本事業は、健全な森林の育成を図るため、更新・保育及び主間伐を積極的に推進し、これに必要な路網を整備するものであり、地域の森林の諸機能の向上が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 中部森林管理局

事業実施地区名: 千曲川上流森林計画区(長野県)

東信森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	9,886,943	
	流域貯水便益	1,262,131	
	水質浄化便益	1,687,924	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,426,029	
環境保全便益	炭素固定便益	1,728,118	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	1,280,112	
	木材利用増進便益	2,640	
	木材生産確保・増進便益	1,787,773	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	262,199	
	治山経費縮減便益	63,165	
	森林管理等経費縮減便益	127,833	
総便益(B)		22,514,867	
総費用(C)		1,603,053	
費用便益比		14.04	